

日本造園学会100周年記念全国大会 公開シンポジウム

百の景の行く先：

ランドスケープが 都市・地域を変える

Public Symposium of the 100th Anniversary for
Japanese Institute of Landscape Architecture

Rethinking 100 landscapes going forward:
Can landscape experts change the cities and regions?

参加費無料・学会員以外の方も大歓迎

主催 公益社団法人日本造園学会 協賛 一般社団法人街路樹診断協会

後援 (公財)都市緑化機構 (一社)日本造園建設業協会 (一社)ランドスケープコンサルタンツ協会
全国1級造園施工管理技士の会 (一造会) (一社)公園管理運営士会 (一社)日本造園組合連合会
(一財)日本造園修景協会

日時

2025年
5月17日(土)
13:00-16:00

会場

東京大学
本郷地区キャンパス
安田講堂
(東京都文京区本郷7丁目3-3-1)

西暦2025年。学会設立から100年。「環境の世紀」の四半世紀が過ぎた現在、気候変動対策や生物多様性保全、地域の風土や文化的多様性、ウェルビーイング、健康、ネイチャーポジティブなど、造園・ランドスケープ分野に関係するこれらのキーワードは、かつてないほど社会的に注目されています。環境の全体性を扱う造園・ランドスケープ分野に求められているのは、これら様々なキーワードを独立のものとして捉えるのではなく、有機的に統合して都市・地域に実装し、より持続的で、レジリエントで、美しい風景の創造につなげていくことでしょう。

しかし、100年の歴史の中で造園・ランドスケープ分野が成熟・高度化した一方、専門分化が進んだ今日において、様々な要素の有機的統合、風景の全体像のデザイン、その社会への発信などが十分に行われているとは言い難い状況

にあります。さらに、もはや社会全体が拡大基調には無いなかで、分野の縮小が避けられず持続性が問われているなか、自身のフィールドを近接分野に開き、オープンな発想で連携・協働を行うことはもはや前提であるという、価値観の転換も必要となっています。

ランドスケープの発想で都市・地域を変えるために、私たちは、いま、何をすべきか。そこにはどのような都市・地域のビジョンが描かれるのか。本シンポジウムでは近年都市の気候変動適応策として世界的に注目されるアーバンフォレストリー分野の第一人者であり、欧州の都市・地域計画に大きな影響力をもつセシル・コナイネダイク氏(Nature Based Solutions Institute 代表/ブリティッシュコロンビア大学名誉教授)を基調講演者に招き、世界的な潮流を参考にしながら議論します。

第1部

基調講演・クロストーク

13:00-14:50

言語：英語・AIリアルタイム翻訳（予定）

Language: English with AI translation to Japanese (tentative)



基調講演「都市のみどりを再考する」

Keynote Lecture: Rethinking Urban Green Spaces

都市のみどりに対して様々な役割が期待されている現状をどのように捉え、その中で専門家は何をすべきかについて、世界各国の様々な例を参照しながら議論します。

セシル・コナイネダイク by Cecil Konijnendijk

Nature Based Solutions Institute (NBSI) 代表、ブリティッシュコロンビア大学名誉教授。樹木や森林の力で都市・地域を変えるアーバンフォレストリー分野の世界的第一人者であり、グリーンインフラや都市緑化全般にも数多くの研究業績をもつ。直近の単著に、「Rethinking Urban Green Spaces」（2024年、Edward Elgar社）。

クロストーク「グリーンと自然の発想で都市を再設計する」

Cross Reference Talk: Redesigning Cities with Green/Nature in Mind

コナイネダイク氏にも登壇いただき、国際的な視点と国内の動向を交差（相互参照: Cross Reference）させながら、都市・地域のあるべき姿と専門家の役割について議論を深めます。



セシル・コナイネダイク
Cecil Konijnendijk



橋本 禅
Shizuka Hashimoto
東京大学大学院
農学生命科学研究科教授



高取千佳
Chika Takatori
九州大学大学院
芸術工学研究院准教授



當内 匡
Tadashi Touchi
株式会社庭樹園
代表取締役



モデレータ
寺田 徹
Toru Terada
東京大学大学院
新領域創成科学研究科准教授

第2部

パネルディスカッション

15:00-16:00

言語：日本語

Language: Japanese

ランドスケープを再考する

—都市・地域を変えるためにすべきこと

日本の都市・地域をより持続的にしていくために造園・ランドスケープの専門家は何をすべきか、学会内の様々な分野の専門家が集まり、第1部の内容を引継ぎながら議論します。



クリストフ・ルプレヒト
Christoph D. D. Rupprecht

愛媛大学社会共創学部
環境デザイン学科准教授



松尾 薫
Kaoru Matsuo
大阪公立大学
大学院農学研究科
准教授



恵谷浩子
Hiroko Edani
奈良文化財研究所
文化遺産部景観研究室
室長



福岡孝則
Takanori Fukuoka
東京農業大学
地域環境科学部造園科学科
教授



モデレータ
秋田 典子
Noriko Akita
千葉大学
大学院園芸学研究科
教授

開会挨拶：大黒俊哉（東京大学）

閉会挨拶・講評：加我宏之（大阪公立大学）

お問い合わせ 日本造園学会事務局 Tel: 03-5459-0515 Email: office@jila-zouen.org

最新の情報はホームページをご確認ください

